



自分にできることを見つけよう

福井市総合ボランティアセンター

そうぼら通信

2022

令和4年
3月発行

Vol.24

子どもボランティア

コーディネート支援校の取組み



ふくい市民活動
基金で応援している
小中学校の活動を
紹介します

東 大東中学校



地域学習の一環として、地区の公園と大野市の公園を比べ、自分たちの町に何が必要かを考えました。どちらの町がきれいかを調べるために、普段使用している公園で清掃活動を行い、ゴミの量を比較してみました。

地域の課題に気づき、普段から公共施設を使うときにゴミを拾うことなど、自分たちで改善していくボランティアの必要性を学びました。

丸山小学校



「つくろう みんなに やさしい町」をテーマに、福祉について学びました。子どもたちは、車いす、アイマスク、点字などの体験をしたり、総合ボランティアセンターでボランティアについての

話を聞いたりしました。学習を通して、困っている人がいたら自分から進んで手助けをしたいという思いを高めたようです。やさしい町とはどんな町なのか、自分に何ができるのかを考えるよい学びとなりました。

岡保小学校



岡保地区社会福祉協議会と連携し、全校児童の縦割り活動で「長寿お祝いメッセージカード」を作って送りました。お礼の手紙や電話をいただき、地域の人とのつながりを感じることが

できました。4年生は、総合ボランティアセンターでの講義を通して、ボランティアへの理解を広げ、活動への意識を高めることができました。また、福祉について学ぶことで、日頃の生活で思いやりをもって人と接することを大切にできるようになりました。

東藤島小学校



まちを美しくするために、プランターに花の苗を植栽しました。多くの人が集まる場所に置き、地域の方の目を楽しませたいと考え、郵便局やこども園、病院などに設置しました。

また、福祉についての学習の一環でゴールボールを体験し、障がい者スポーツの素晴らしさに気づくとともに、障がいのある方のために自分たちができることについても改めて考えることができました。

森田小学校



4年生は、「福祉」に関して学びを進めています。昨夏に開催されたパラリンピック東京大会で、日本人選手の活躍をテレビ等で観戦し、自分たちもボッチャ競技を体験したいという思いをもちました。

体験をする中で、障がい者も健常者も一緒に楽しめること等ボッチャ競技のよさについて感じる事ができました。他のことでも、一緒にできることはないか考えるきっかけともなりました。

森田中学校



生徒17名が、「もりのわフェスタ」の会場準備ボランティアに参加しました。肌寒い風雨の中での作業となりましたが、生徒たちは楽しみながら行灯を設置していました。その一生懸命な姿に、心から拍手を贈りたいと思いました。関係者からもねぎらいの声をかけていただき、「地域とともに生きる」という一つの良い関り方を実現できました。

ボランティアアカデミーをふりかえって



ボランティアのきっかけとなる様々な活動を学ぶ、そうぼらのボランティアアカデミー。毎年度、ボランティアの実践につながる活動体験を提供しています。今年度も、動物愛護や子育て支援、

文化財や環境をテーマに開催しました。

それぞれのコースの

楽しい学びや体験を紹介します。



動物愛護コース



動物愛護について学びボランティアを体験するコースに、10～60代の10名が参加しました。

一般社団法人ふくい動物愛護管理支援センター協会の職員から、施設で保護されている動物の現状や、飼うことの責任の重要性などを説明していただきました。また、保護犬や保護猫と触れ合う体験を通して、参加者は動物への愛情や想い、動物愛護への意識が高まったようです。

また、子猫預かりボランティアの二宮さんご夫妻からは、子猫の病気の見つけ方やミルクやり、預かり中に子猫が死んでしまうことがあるなど、楽しいと可愛いだけでは動物ボランティアは務まらない、動物ボランティアの責任の重さと命の尊さについてお話いただきました。



参加者からは、「福井では殺処分がゼロということにとっても驚いた。また障がいを持つ動物たちも引きとっていただく家族がいるということにも驚いた。」「ネコちゃんたちを育てるのは大変だと思うのに、次の飼い主さんに引き継ぐまでがボランティアだと知って驚いた。」といった感想がありました。

キッズサポートコース



子どもの年齢に合わせた対応や、地域全体で子育てを応援することの必要性を学び体験するコースに、10～70代の15名が参加しました。男性の家事・子育てへの積極的な関わりを勧めるNPO法人おっとふぁーぎー代表理事の館直宏さんから、男性の地域との関わり方や子育てと家事の楽しみ、子どもの成長と年齢の特徴に合わせた知識と技術について学びました。

また、絵本の選び方・読み方、身近なバスタオルを使った遊びや折り紙の手裏剣作り、珪藻土のコースターや洗濯のりと芳香剤ビーズ等を使ったスノードームなど、家庭や100円ショップにある物で簡単にできる、おもちゃ作りのボランティアを体験しました。

参加者から、「男性の視点から話が聞けて大変勉強になりました。男性の本音の意見はなかなか知る機会がないのでとても興味深かった。」「将来保育士になりたいので、講座で体験した読み聞かせやおもちゃ作りを活かしたいと思います。」といった感想がありました。



子ども食堂体験コース



子ども食堂の役割について学び、支援者と交流しながらその取組を体験するコースに、40～70代の10名が参加しました。

こども食堂ネットワークふくい運営委員の森透さんと竹澤賢樹さんから、県内の子ども食堂の状況についてお話をいただきました。

また、ひまわりキッチン代表の南康人さん、山田さんちのいちご食堂代表の山田紀子さん、みんなの食堂(越前市)代表の野尻富美さんから、活動への思いや実際の取組を伺いました。

参加者は、それぞれの子ども食堂に分かれて、フードパントリーやお弁当作り、食堂の開催や学習支援に通う子どもたちへのお弁当配布など様々なボランティアを体験。加えて、こども食堂青空代表の中村幸恵さんから、子ども食堂で使うおもちゃづくりも体験しました。

参加者からは、「楽しく活動できた。喜んでもらえたら嬉しい。」「子ども食堂の様々な活動を知ることができた」「自分にできることを探して地域と関わっていきたい。」といった感想がありました。



植栽剪定ボランティアコース



江戸時代の古民家「おさごえ民家園」で、剪定の基本を学び体験するコースに40～70代の15名が参加しました。最初に、文化財保護課の青木元邦さんから、建物の特色や当時の暮らしについて説明していただきました。

養浩館庭園を担当している庭師の森口朝行さんからは、剪定の基本と道具の使い方、どの枝を切ってどれを残すか、枝の切り方など、初歩的な剪定の基本を分かりやすく教えていただきました。

体験では、庭のイメージを参加者が共有しながら、いる・いないの枝を決めて剪定。ビフォー・アフターでは見違えるようになり、座敷から見た景色は額縁の中の写真のようでした。また、隣接するカルチャーパークで美化活動を行っている「赤坂すみれ会」とも交流しました。参加者から、「何かの役に立っていてこそ、生きる価値があると常々思っておりましたがなかなか活動できませんでした。今後もなんらかの役に立てればと思います。」と感想がありました。



環境・フードロス削減コース



環境問題の現状と課題、ごみ削減や食品ロスについて学び体験するコースに、10～70代の17名が参加しました。

福井市環境アドバイザーの村上重明さんから、地球の温暖化や環境問題、ごみ削減の取組についてお話しいたいただき、ハピリンの店舗から提供を受けた廃油を使って石鹸づくりを体験しました。

また、福井県民生活協同組合の久島雅夫さんと、市環境政策課の黒川広樹さんからは、食品ロスの削減とフードドライブについて教えていただき、参加者は賞味期限の確認や食品の品目分けなどを分担し、配布先別の箱に仕分ける作業を行いました。

参加者からは、「このような方法で石鹸づくりができるなんて、初めて知れて良かったです。」「仕分け作業の大変さをすごく感じました。自分で持ってきたものが他の人の役に立ってくれると嬉しいです。」といった感想がありました。



県民社会貢献活動表彰を受賞！

令和3年度福井県県民社会貢献活動に関する表彰で、地域社会に貢献している福井市の市民活動団体が、功労者知事表彰・知事奨励賞を受賞しました。2月27日福井県国際交流会館で、知事から表彰状が授与されました。



功労者
知事表彰

特定非営利活動法人 エコプランふくい

2001年の設立以来、環境に主体的に関わる市民とともに、環境の保全、生物多様性の維持および循環型社会形成に寄与することを目的に、環境教育や環境保全事業などの活動を20年に及び継続しています。

環境教育では、自然エネルギーの実験や工作教室、身近な自然の観察会など年間を通して実施。環境保全事業では、おおい町の南川サイフォン式小水力発電など、市民出資による再生可能エネルギーの地産地消を牽引しています。



親子エネルギー教室



河川敷の植物観察会



知事奨励賞

特定非営利活動法人 ふくい科学学園

2009年、県内の大学や高校・小中学校の教員や企業経営者などで設立されました。

科学の見える化を通じて、科学の面白さを伝え、科学への理解を深めてもらい、科学の考え方を伝承することを目的に、子どもを対象にした科学実験教室の定期開催、海外科学教育支援、科学実験教材の開発等を通じた科学教育振興の事業を継続しています。独自開発した「雪の顕微鏡観察と人工雪生成」と「水滴レンズ顕微鏡」は、効果的な科学実験として高く評価されています。



スキューの合間に
親子で雪の結晶を観察



講座情報

詳しくは [福井市ボランティアネット](#) でご確認ください。

タイトル	日時	会場・定員	内容
ステップアップ講座 「クリニックラウンに学ぶ コミュニケーション」	3月26日(土) 14:00~16:00	総合ボランティアセンター 定員:20人(先着順) 受講料:無料	長期の入院生活を送る子どもたちを訪問し、遊びや関わりを通して成長をサポートしている「クリニックラウン」の取組みから、ボランティアを行う際のコミュニケーションのコツを学びます。

(感染症対策で変更になる場合があります)



自分にできることを見つけよう

ボランティアネット 福井市総合ボランティアセンター

そうぼらではこんなことができます

- あなたにあった活動が見つかります！
- ボランティアの情報がわかります！
- 講座や交流会に参加できます！
- 交流ひろばや研修室がつかえます！
- チラシやポスターが印刷できます！

〒910-0006 福井市中央1丁目2-1ハピリン4階
福井市市民協働・ボランティア推進課
TEL:0776-20-5107 FAX:0776-20-5168
E-mail:volunteer@city.fukui.lg.jp

開所時間 火曜日～金曜日 9時から21時
土曜日・日曜日 9時から17時
休所日 月曜日、祝日、年末年始
(祝日が土日の場合は開館)

